

空気の熱で、 CO₂を半分に。



ヒートポンプ技術は、空気の熱を上手に活用しています。



日本が誇る革新技術、「ヒートポンプ」を世界の空調・給湯へ。

地球温暖化を防ぐためには、CO₂排出量を大幅に削減することが必要です。CO₂を出さない原子力や高効率な火力などをバランス良く組み合わせた電源のベストミックスによる環境性に優れた「電力会社の電気」と、高効率な「ヒートポンプ」を組み合わせることで、燃焼式に比べてCO₂排出量を半減することができます。

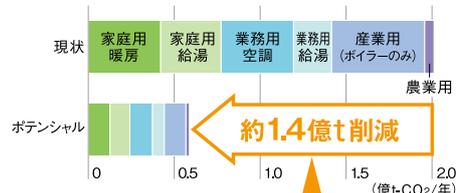
空気熱は再生可能エネルギー

EUでは「再生可能エネルギー推進に関する指令(2009年6月施行)」において、一定効率以上のヒートポンプにより利用した「空気熱・地中熱・水熱」を再生可能エネルギーとして定義しています。また日本でも、空気熱は「エネルギー供給構造高度化法(2009年8月28日施行)*」において、再生可能エネルギー源として認められています。

*「エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用に関する法律」

●ヒートポンプのCO₂削減ポテンシャル

国内の冷暖房や給湯、100℃以上の高温域を含む加温・乾燥および農業用途などをすべてヒートポンプで代替した場合



国内のCO₂排出量の約1割に相当
 太陽光発電を国内全戸建住宅に設置した削減量の約3倍に相当*

*太陽光発電設備容量:4kW 設備利用率:12%
 国内全戸建住宅数:2,745万戸(総務省統計局「平成20年住宅・土地統計調査」)
 にて東京電力試算。
 出典:(財)ヒートポンプ・蓄熱センター試算

電気のこと、省エネルギーに関する情報は、東京電力のホームページをご覧ください。

www.tepco-switch.com/biz

いつもの電気、もっと先へ。



東京電力